

平成17年3月25日
気象庁予報部

配信資料に関する技術情報(気象編)第194号

～「日本周辺の発達する熱帯低気圧に関する情報」の提供開始について～

24時間以内に台風になると予想した熱帯低気圧のうち、日本に影響があるものについて、その実況と今後の予測を「日本周辺の発達する熱帯低気圧に関する情報」として、平成17年6月1日から提供します。

1. 「日本周辺の発達する熱帯低気圧に関する情報」について

平成16年台風第11号では、日本のごく近海で熱帯低気圧が発達して台風になったため、既存の台風情報では事前に危険性が十分に伝わらず、適切な防災対応を執ることが難しい場合があります。

このように日本近海で急速に発達して台風となる熱帯低気圧への対策として、「日本周辺の発達する熱帯低気圧に関する情報」の提供を開始します。詳細は以下の通りです。

- (1) 24時間以内に台風になると予想した熱帯低気圧のうち、日本への接近が見込まれるものを対象として情報を発表します。
- (2) 位置・強度の解析値と24時間予報値を、6時間ごとに1日4回、観測時刻の1時間30分後(4時30分、10時30分、16時30分、22時30分(日本時間))までを目途に発表します。
- (3) この情報の対象となった熱帯低気圧が台風になった場合には継続して台風情報を発表します。
- (4) データ種類コード(ヘッダ)は「**ゼンコクタイワク21 キヨウ**」です。
- (5) 台風情報と同様の形式の平文で発表します。(電文例1)
なお、同じ内容でより電算処理に適した形式の電文を、平成18年に開始する予定です。
- (6) この情報の対象となった熱帯低気圧が台風にならなかった場合や日本への影響がなくなると判断される場合には、「熱帯低気圧情報を終了します」という趣旨の情報を発表します。(電文例2)

2. 開始時期

平成17年6月1日から

3. 電文の例

電文例を以下に示します。なお、後日、サンプルデータを、(財)気象業務支援センターを通じて提供します。

○電文例1

ゼンコクタイワカ21 キヨク

日本周辺の発達する熱帯低気圧に関する情報
平成17年x月24日10時30分 気象庁予報部発表

(見出し)
日本周辺で台風が発生する見込みです。

(本文)
24日9時の観測によると、日本の南の北緯22度30分、東経131度10分には、998hPaの熱帯低気圧があつて、北西へ毎時15キロで進んでいます。
今後24時間以内に中心付近の最大風速は20メートルに達し、台風となる見込みです。
なお、この熱帯低気圧の中心は、70パーセントの確率で24時間後の25日9時には沖縄の南の北西の北緯24度20分、東経128度55分を中心とする半径120キロの円内に達する見込みです。

=

○電文例2

ゼンコクタイワカ21 キヨク

日本周辺の発達する熱帯低気圧に関する情報
平成17年x月25日10時30分 気象庁予報部発表

(見出し)
熱帯低気圧は日本へ接近する可能性は小さくなりました。

(本文)
25日9時の観測によると、日本の南の北緯22度30分、東経131度10分には、998hPaの熱帯低気圧があつて、北東へ毎時15キロで進んでいます。
日本へ接近する可能性は小さくなりましたので、これで情報を終了します。

=